

シルバーぎふ

書：足立正子会員（102歳）

第86号 令和4年1月10日発行
公益社団法人岐阜市シルバー人材センター
理事長 田中康雄
〒500-8164
岐阜県岐阜市鶴田町3丁目7番地4
TEL 058-240-1245 FAX 058-240-0911
Eメール gifusc@sjc.ne.jp
URL <https://webc.sjc.ne.jp/gifusc/index>



設立40周年記念 第7回シニアワークフェア 令和3年11月6日 ぎふメディアコスモス



開会式



富田義男会員による開始の太鼓



女性委員会によるクラフト講座



シンボルマーク・キャッチフレーズの最優秀受賞者

第86号 も く じ

設立40周年記念第7回シニアワークフェア	1	就業現場訪問	5
理事長新年のごあいさつ・役員新年挨拶	2	笑顔の新入会員	6
設立40周年記念第7回シニアワークフェア開催報告	3	生涯現役活躍人	6
役員活動報告	3	除草お助け隊紹介	6
女性委員会活動報告	4	親睦会だより	7
安全・適正就業委員会活動報告	4	事務局だより	8
シンボルマーク・キャッチフレーズ決定	5	インボイス制度をご存知ですか?	8
設立40周年記念事業PR動画	5	あとがき	8



新年のごあいさつ

理事長 田中 康雄

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、ご健勝にて新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、皆様には、日頃からシルバー人材センターの事業運営等に格別のご支援とご協力を賜っておりますことを心から厚くお礼申し上げます。

昨年、コロナ禍の中で、センター設立40周年の記念事業を滞りなく実施することができましたことは、周年事業実行委員会及び会員の皆様のご尽力とご協力によるものと、心から感謝とお礼を申し上げます。

周年事業では、40年間の歩みを後世に残すための記念誌『年輪』の発刊、岐阜市シルバー人材センターの知名度の向上とイメージアップをより効果的に推進するための『シンボルマーク&キャッチフレーズ』の作成、そしてセンターをPRするための『プロモーション動画』の作成を行いました。

今後は、会員拡大や就業機会の拡大に取り組む際に、このシンボルマーク&キャッチフレーズ及びプロモーション動画を有効に活用していきたいと思っております。

さて、今年のセンターの目標についてであります。次の50周年に向けてセンターが更なる躍進を目指すためには、「第2次中・長期基本計画書」に掲げたアクションプランを推進することが必要であり、中でも特に次の2点の施策を重点項目として取り上げたいと思っております。

1点目は、就業機会の拡大です。

人生100年時代、当センターがキャッチフレーズに掲げた「生涯現役！健康・生きがい・社会貢献」を目指

すためには、会員の多くの皆さんが希望する職種に就業していただけることが大切だと思います。そのためには、企業や各家庭からの仕事を待ち受けるだけでなく、就業開拓委員会や事務局による積極的な活動に加え、社会のニーズを鑑みて、センターの独自事業の拡充と創出により、会員の就業機会を新たに生み出すことも重要であると考えます。

具体例を挙げますと、センターでは昨年3月にITに精通した会員のグループによる職群(IT・通信・事務班)を立ち上げました。

この職群では、各校区に設置されている「まちづくり協議会」から、アンケート調査の集計業務などを既に受注しています。

また、当センターからも、前記の「プロモーション動画」の製作をこの職群に委託しました。

このように社会のニーズに見合う新たな職群の創設が会員の就業機会の拡大に結びついています。

2点目は事務事業の見直しと改善です。

これについては、昨年、「事務・事業改善」に関しての策を、職員全員に呼びかけたところ、多くの提案がありました。現在、有益かつ実現性の高いものから順次実施しています。

また、センターではペーパーレス化による諸経費の節減や、事務の合理化及び情報の共有化を図るため、事務局内での一部の会議において、パソコンを活用した会議を始めました。

近い将来、理事会や専門部会等におきましても、順次タブレット端末やパソコンを使用した会議にしていきたいと考えています。

当センターの発展のため、各事業に対して合理化や効率化などの取り組みを行ってまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康、ご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



役員新年挨拶 明けましておめでとうございます

社会を支える担い手として、役員一丸となって会員拡大・就業機会拡大に取り組んでいきますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

理事長	田中康雄	副理事長	小川欽市
専務理事	田中和弘	事務局長	安江稔子
理事	川島聰	理事	高見方子
	細江善一		児玉洋子
	高崎一吉		石田絹子
	高橋幸治		青木由美子
	中島正和		永塚浩子
	本田敏郎		大橋美紀子
監事	牧野泰	監事	三間導雄



田中専務理事
小川副理事長
田中理事長
安江事務局長

設立40周年記念 第7回シニアワークフェア開催報告

令和3年11月6日(土)、みんなの森ぎふメディアコスモスにおいて第7回シニアワークフェアが盛大に開催されました。

カオカオ広場では、開会式に先立ち南部地区の富田義男会員による太鼓の演奏が行われ、続いて理事長の開会あいさつ、来賓の岐阜市長柴橋正直様から御祝辞をいただきました。岐阜県シルバー人材センター連合会会長浅野壽様の紹介の後、クラッカーを鳴らして華々しくシニアワークフェアがスタートしました。

みんなのホールでは、設立40周年記念事業の一環であるシンボルマーク・キャッチフレーズの発表と授賞式が行われ、続いて神田卓朗さんによる設立40周年記念講演、岐阜芸妓組合による記念公演、親睦会文化祭が順次行われました。

考えるスタジオ1では、女性委員会によるクラフト講座が行われました。また、考えるスタジオ2では、午前にIT・通信・事務班によるLINE講座が行われ、午後からは入会説明会が行われ27名もの参加がありました。

カオカオ広場では、会員の手作り小物、新鮮野菜、手作り弁当、美濃市シルバー人材センターの焼き芋、岐阜市みどりのまち推進財団の花苗、岐阜グランドホテルのあんぱんの販売テントが立ち並び、更にキッチンカーも出て、多くの人で賑わいました。また今回は、ぎふチャン(岐阜放送)の参加もありました。

新型コロナウイルス感染症対策としての「緊急事態宣言」は解除され、感染者は岐阜県をはじめ全国で激減しています。しかし、油断は禁物です。今後は、withコロナの感染症対策を徹底し、シルバー人材センターの活動を行っていきたいと思っています。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、今回のシニアワークフェア開催にご協力を賜りました全ての皆様に厚くお礼申し上げます。

(実行委員会副委員長 高崎 一吉)



各地区受付の様子



カオカオ広場の様子



LINE 講座の様子

役員活動報告



令和3年8月2日

柴橋岐阜市長と谷藤岐阜市議会議長を訪問し、シルバー人材センターへの支援要請を行いました。



令和3年8月17日

ワークプラザぎふで地区組織役員研修会を開催し、役員及び班長が出席しました。



令和3年10月1日

柴橋岐阜市長、田中理事長及び高見女性委員会委員長による、岐阜市シルバー人材センター設立40周年記念事業の鼎談が行われました。

女性委員会活動報告

女性委員会は、平成27年7月に発足し、今年で6年目を迎えます。平成28年には、シニアワークフェアで女性委員会がバザーを開催し、その売上金を歳末助け合い募金に寄付しました。

次の年からは、エコを中心に手芸講座を開催してきました。

今年は、昨年を上回る新型コロナウイルスの感染拡大によるコロナ禍の中、私たちは、委員会活動のメイン行事であるシニアワークフェアについて、6月と7月に女性委員会を開き討議を重ねました。そして、昨年に引き続き、エコをテーマに手芸講座を開催することとし、『クラフトテープで作る小物入れ体験講座』に決定しました。

今年は、エコクラフトの指導者である児玉洋子先生が委員の一員であったので指導を仰ぎました。委員一人ひとりが、受講者に教えることができるよう家で何度も小物作りを練習し、シニアワークフェアに向けて準備してきました。

体験講座に参加して下さった方々から、「楽しかった」「かわいい小物入れができてうれしい」「参加できてよかった」「丁寧に教えてもらえてうれしかった」などのねぎらいの言葉をいただくことができ、私たち女性委員一同、企画、準備等の苦勞も吹き飛び、達成感を味わうことができました。

また、今年40周年記念にちなみ、新しい試みとして『女性委員会のあゆみ』をパネルにまとめ、過去の作品と一緒に会場の入り口付近に展示してみました。女性委員会へのご理解の一端としていただければ幸甚です。

現在は、2月に開催予定の『女性のつどい』に向けて、女性委員会一同一致団結して頑張っています。

これからも、皆様のご協力をお願いいたします。

(女性委員会委員長 高見 方子)



活動の様子



女性委員会手づくりの小物やパネル

安全・適正就業委員会活動報告

安全・適正就業委員会は、令和3・4年度標語として「気を抜くな家に着くまで 安全就業」と「安全は心の緩みの防止から」を掲げ、全会員の安全就業を目指しています。委員会は、11名の委員で構成され、年3、4回開催しています。委員会では、安全・適正就業について協議・検討し、会員に周知を図っています。また、安全就業推進大会や安全巡回(パトロール)の実施により、会員の安全就業意識の更なる高揚・向上を目指しています。安全巡回では、安全委員・安全対策員が様々な就業現場に行き、会員の安全就業への取り組み状況を確認し「安全就業」をお願いしています。

今年度11月末までに発生した事故は、すでに19件です。安全就業の要は、標語にもあるように気の緩み、油断、注意力欠如の排除だと思います。それには先ず健康であることが重要なので、体調管理に充分留意し、今後の事故ゼロを目指して行きましょう。

(安全・適正就業委員会委員長 本田 敏郎)



令和3年度
安全就業推進大会



安全巡回の様子

設立40周年記念事業

シンボルマーク・キャッチフレーズ決定



●シンボルマーク最優秀賞 森田 正彦さん

製作意図：シルバー (Silver) ロゴと岐阜のインシヤル (Gifu) をモチーフとしてデザインしました。Sは飛躍のシンボルを表現。☆はいぶし銀の輝き、赤は情熱、緑は金華山の山並み、また、青は長良川の清流をイメージしています。

生涯現役！

健康・生きがい・社会貢献

●キャッチフレーズ最優秀賞 高崎 美代さん

製作意図：第2の人生(セカンドライフ)を豊かなものにするには、人との交わりや社会とのつながりなど、心身の健康が重要になります。自分のキャリアを生かした仕事をする事でこれらを実現することができます。岐阜市シルバー人材センターがその機会を提供しお手伝いするという思いを込めています。

●設立40周年記念事業PR動画

設立40周年記念事業の一環として、センターのIT・通信・事務班が中心となって岐阜市シルバー人材センターのプロモーション動画を作成しました。



※動画はセンターのホームページでご覧いただけます

就業現場訪問(IT・通信・事務班)

令和3年度から、IT・通信・事務班が岐阜市シルバー人材センターの職群となり、興味津々の中での訪問です。全国のシルバー人材センターでも珍しい職群で、その目的は、就業のホワイトカラー化と定年退職者の増加に対応した就業開拓です。会員の皆さんに協力いただいている通行量調査においてもデータの集計作業をしており、蓄積されたデータは岐阜市の将来計画の一翼となります。

各自自治会のまちづくり協議会からの依頼で、アンケートの集計やデータ分析の依頼も受注しています。今回のシニアワークフェアで発表された、設立40周年記念事業の一環でもある岐阜市シルバー人材センターのPR動画の作成もされましたが、とても素敵な仕上がりでした。

お話を伺うためにセンターの2階会議室に入室すると、パソコンだけが起動していてびっくりしました。

なんとWeb会議です。テレビなどで見聞きはしていましたが、体験は初めてでした。しかし、IT・通信・事務班では随時、Web会議が開かれているそうです。

まず初めに、自己紹介から入りました。リーダーの山田晃平さん、春川邦幸さん、猿渡哲夫さん、そして、事務局からは亀田係長が参加し、4人が画面の中です。

早速、話題の設立40周年記念事業のPR動画作成で苦勞されたことからお話を伺いました。基本計画が8

月中旬に持ち上がり、まずは体制づくりで一苦勞。また、9月上旬には、動画の構成、時間割、種々の映像を集めることに取り組みましたが、思うようにいかずここでも一苦勞。さらには、会員の就業見学が4か所もあり、基礎資料集めもまたまた一苦勞。その中でも特に動画の時間を10分から7分に短縮することになり、詰め込み過ぎにならないようにゆったり感を出すことに一番苦勞したそうです。しかし、「苦勞はしましたが、ナレーションの人選がうまくいき出来栄えには満足している」と笑顔の一方で「立ち上がったばかりの体制のため、反省も多い」と話されていました。

最後に、「今は、ある学園の機械設計のプログラミングの仕事を受注するなど徐々に前進していて、これからも今までの経験を活かしていきたい」と明るく話をされました。

IT・通信・事務班の今後の活躍に期待しつつWeb会議から退出しました。

皆さんをお願いします。10年ひと昔ならぬスピード時代です。助けになりたい、仲間になりたいと思う方は、センター事務局にお問い合わせください。

(取材 川島 聡)



リモート会議の様子

笑顔の新入会員



北部地区 9011
常 磐 春川 邦幸さん

●入会のきっかけは

昨年9月に会社を退職し、これからの事を考えていた時、シルバー人材センターの案内を知りました。説明会に行き、まずは参加してみようかと思い入会しました。

●入会されてみていかがでしたか

入会当初は、自分にマッチングする仕事がなかなか無く考えたりもしましたが、シニアワークフェアのビデオ動画の仕事に参加して、少しは自分らしい仕事ができただのかなと思いました。現在はIT・通信・事務班に所属してパソコン部会の講師をしています。



パソコンクラブの講師をする春川さん

●春川さんとお会いし、お話を伺って

コロナ禍の今、出社しないでリモートワークできるように、ITは時間、場所を気にせず、人とのコミュニケーションが図れ、その手段としてパソコンやスマートフォンがあるのだと説明していただきました。

パソコン教室では、パソコンの本に載っていない裏技も教えてくださるそうです。

春川さんは、終始穏やかにIT音痴の私にも分かるよう話していただきました。

これからもご活躍されることを期待し、願っています。

(取材 大橋 美紀子)

生涯現役 活躍人



北部地区 3535
鷲 山 田中 公子さん

●シルバーに入会した動機は

平成12年にヘルパーの仕事がしたくて入会しました。

●うれしかったことは

介護保険の制度が開始された時にヘルパーの講習を受け、2級の資格を取り、仕事に携わり他人と接している間に生き甲斐を見つけ、明るく楽しい8年間を過ごせたことです。

●現在の活動と今後の目標は

今は交流センターで月1回の就業と、ほかにボランティアでヘルパーの仕事をしています。また、自分の家



趣味の講座受付業務をしている田中さん

で畑仕事をしています。

ボランティアは、奉仕の精神でグループ活動し、主人や家族の協力を得ながら続けて行きたいと思います。また、シルバーの仕事もあれば、喜んで取り組んでいきたいと思っています。

●取材を終えての感想

今年20年表彰を受けられた田中さんの仕事への情熱をひしひしと感じるとともに、私もボランティアへの関心を一層深めたいと思いました。(取材 児玉 洋子)

除草お助け隊紹介



中央地区 8888
徹 明 細井 明雄さん

除草お助け隊とは、会員の隙間時間を利用して除草の補助をしていただく作業隊のことです。今回は、除草お助け隊のメンバーである細井さんをご紹介します。

細井さんは、萩原町で高校まで過ごし、農業を営む実家の手伝いをされていました。田畑の草刈り、山の下草刈り、田植えなど全て手作業の時代だったそうです。

岐阜大学で事務職員として60歳で定年、65歳まで再任用、駅前のサテライトキャンパスで70歳の満期を迎えた後、シルバーへ入会されました。

入会后、襖班に所属していましたが、コロナの影響で仕事が少なくなっていたところ、除草お助け隊の募集を見て、都合の良い日にできると書いてあったので応募されたそうです。

「除草お助け隊の仕事は、川上リーダーから教えてもらいながら仲間とともに楽しくやっており、この夏は湊コミュニティ、岐阜市食肉市場で就業しました。」とのこと。

皆さんも除草お助け隊として就業しませんか。応募お待ちしております。

● 設立40周年記念親睦会文化祭

令和3年11月6日に、設立40周年記念親睦会文化祭を開催しました。
親睦会文化祭が行われた「みんなのホール」では、5つの部会の皆さんが日頃の練習の成果を披露されました。



歩こう会



グラウンドゴルフの会



しるばあ寄席の会



カラオケ部会



民謡部会

● シルバー作品展

令和3年11月17日から19日まで、ぎふメディアコスモスみんなのギャラリーで、会員が丹精込めた書、絵画、小物などを展示するシルバー作品展が開催されました。



● 料理教室

令和3年12月15日に、「簡単・華やか料理」をテーマに市橋コミュニティセンターで料理教室が開催されました。昨年度は中止となったため、2年ぶりの開催となりました。



● 定期部会紹介(しるばあ寄席の会)

定期部会『しるばあ寄席の会』が今年の10月に、岐阜県ユネスコ協会で開催を行い、その様子が岐阜県ユネスコ協会が発行している会報に掲載されました。

会報には、例会に対するお礼とともに、「あまりの上手さにびっくりしました。またぜひ聴かせていただきたい」と書かれていました。

『しるばあ寄席の会』としても久しぶりの高座で緊張されたようですが、そうした場にお招きいただくことで寄席の会会員の活力も湧いてきますので、大変ありがたい公演だったとのことです。

皆さんお疲れ様でした。引き続きのご活躍をお祈りします。



例会の様子



事務局だより

— 新規採用職員紹介 —



業務
(植木)
鈴木
真

サービス提供責任者
東田
和枝

地域deつながるマーケット
高山
菜々子



LINE 公式アカウントはじめました！

岐阜市シルバー人材センターのQRコードを作成しました。今までの紙面によるシルバーニュースや就業情報に加え、今後データでも、就業情報、シルバーニュース、お得な情報などを1月から順次配信予定です。なお、LINE公式アカウントは、センターからの配信専用になります。

※アプリLINEの登録は、スマートフォンが必要です。



インボイス制度をご存知ですか？



皆さんはインボイス制度(適格請求書等保存方式)という言葉聞いたことがあるでしょうか？

インボイス(適格請求書)とは売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。

シルバー会員は、いわゆる個人事業主として仕事をしますので消費税納税義務者になります。

会員の皆様が請負・委任により受け取る配分金には、就業したことによる報酬とその報酬に係る消費税が含まれています。

本来、センターから配分金を受け取った会員は、受け取った配分金に含まれる消費税を税務署に申告納税する必要がありますが、消費税法上、課税売上として受け取る金額が、年間1,000万円以下の場合には免税業者として取り扱われます。そのため、現状では、当センターにおいて申告納税する会員はいないと思われます。

しかし、インボイス制度が導入される令和5年10月以降、配分金に含まれる消費税の取り扱いが変わっていく可能性があります。

現時点ではまだ不明なこともあるため、シルバーニュースや会報、ホームページ等を活用して、今後も、皆様と情報を共有していきます。

あ と が き

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

岐阜市シルバー人材センターは、令和3年に設立40周年を迎え、設立40周年記念誌「年輪」を令和3年12月に発刊しました。テーマは、「振り返りと50周年に向かって」です。

今後は、「会員の笑顔」「お客様の笑顔」「地域社会の発展」「センター公益機能の充実」の「四方良し」を基本として、「元気と笑顔の絆社会」を目指して、センターと会員が一丸となって活動して行かなければなりません。

事業部会一同、今後もより良い会報を届けられるように努力してまいります。なお、時代の流れにより、今号から会報は横書きにしました。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



部会員
川島 聡

事業部会長
高崎 一吉

部会員
児玉 洋子

部会員
大橋 美紀子